



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.79
櫻守の会の里山整備活動
／長岡 一夫
2009年10月発行

第79回テーマ： 櫻守の会の 里山整備活動



自然体験を楽しむ小学生

講演内容

- 櫻守の会の活動と沿革
- 桜の園の四季
- 里山づくりの担い手

実施日：平成21年10月17日(土)
午後1時～3時30分
場 所：六甲山自然保護センター



講師：長岡 一夫さん

プロフィール

1937年(昭和12年)生れ72歳、兵庫県出身。60年甲南大学経済学部卒業、95年まで民間企業勤務。77年(社)大阪自然環境保全協会入会(元理事)、里山の保全活動に係わる。91年妙見里山倶楽部を設立し会長、99年～櫻守の会・会長。

午前中は雨、ストーブで暖をとる

天気予報では六甲山は曇り空で、午後から雨が降るという予想でした。午前中の環境整備ボランティア活動には長岡講師を含む8名が参加し、雨具を持たずに二つ池周辺の雑木林を踏査しました。突然、雨が降り出し濡れねずみになって、自然保護センターに戻りました。石油ストーブのもてなしを受けて、暖かさが身に染み、六甲山では雨具は必携と肝に銘じました。

里山整備活動の先覚者

長岡さんは30年以上も前から大阪自然環境保全協会では活動され、里山の保全活動や指導者・実践者の育成に取り組んで来られました。1999年に櫻守の会を設立、水上勉氏の小説『櫻守』の主人公、故笹部新太郎氏の偉業である「桜の園」の再興に尽力されています。宝塚市の5カ所で里山整備活動を進め、県内では代表的な里山づくりを先導されています。



笹部新太郎氏

ある日阪急仁川駅前で、通りかかった幼稚園児たちが「長岡さん！」と寄って来る。近くの幼稚園も支援され、子ども達にも親まれている方です。10月4日(社)「国土緑化推進機構」主催の平成21年度全国育樹活動コンクールで理事長賞受賞、長崎県での全国育樹祭の授賞式に参加。

『櫻守たちの一年』で里山づくりに感激しきり

講演では出来上がったばかりの「桜の園」のパンフレットを配付され、2種のパワーポイントなどで櫻守の会や里山づくりの活動の実際を詳しく説明していただきました。桜の園での四季の活動を紹介したVTR『櫻守たちの一年』を放映し、絶妙のコメントも加えていただきました。息の長い里山づくりを40分足らずで鑑賞した参加者は感激の声をあげていました。

主催：六甲山を活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局、灘区役所、神戸市教育委員会

急な斜面での樹木の伐採、観察路の整備、安全管理、桜の植樹などの実践活動。里山入門講座の開催、中学の「トライやる」、小学生の森林体験講座など、後継者育成につながる活動などを理解し関心を深めました。



急斜面での伐採活動



里山入門講座

市民のボランティア活動は課題も大きい

講座生でも1割しか残らない、手弁当の奉仕では続けていけないなど、市民ボランティアが抱える課題も指摘された。世の中の役に立つ活動がゆえに、いかに継続するかを腐心することが主催者の役目になっています。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

参加の感想 並河 俊夫さん

初めて参加させていただきました。普段何気なく六甲山に登っていますが、登山道の整備や環境学習等維持活動を地道に実施されている方々の長年の努力の積み重ねの成果と敬服した次第です。



今回のセミナーは里山整備でしたが、翌日実際に森の手入れで伐倒作業を体験しましたが、森の広さから見ると1日で手入れできる面積の微々たるものに、唖然としました。根気強く活動に参加したいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

【助成金をいただいている機関】

イオン環境財団、大阪コミュニティファンド、公益信託自然保護ボランティアファンド、公益信託TaKaRaハーモニストファンド